

入札説明書

1. 物件名 令和6年度 福島森林管理署白河支署 揮発油・灯油
2. 予定数量 揮発油 6,000^{リットル}
灯油 300^{リットル}
3. 契約期間 自 令和6年 4月 1日
至 令和7年 3月31日
3. 入札公告日 令和6年2月15日(木)
4. 入札執行日及び開札時間
令和6年3月12日(火) 午後1:30まで 入札締切
午後1:30から 開札
5. 入札執行会場 福島森林管理署白河支署 2階 会議室

6. 競争参加資格

- 入札公告2(1)～(4)に定めた条件のほか、次の条件を満たすこと。
- (1) 官署から半径3km以内に給油所又は代行給油所(高速道路内にあるものを除く)を確保できること。
- (2) 入札参加希望者の給油所又は代行給油所(高速道路内にあるものを除く)において共通して利用できる給油カードを無料で発行できること。
- (3) 納品した揮発油等の請求について、月締めで翌月の20日迄に行えること。

※ 入札公告のとおり、下記証明書等を令和6年3月7日(木)午後5:00までに福島森林管理署白河支署総務グループ(経理担当)に提出し、その審査をもって入札参加許可を受けて下さい。

【証明書類等】

- 令和4・5・6年度 資格審査結果通知書
(全省庁統一資格)の写し
- 別紙1「調達対象官署一覧」
- 別紙2 発行する給油カードの概要

7. 配付資料

- 関東森林管理局署等競争契約入札心得
(ホームページからダウンロードし熟知すること。)
- 契約書・仕様書(案)
- 入札書・入札内訳書
- 委任状の作成例
- 証明書等(様式)

契 約 書 (単 価) (案)

1. 予定総金額 ￥ ー

内 訳

品 名	規格・品質	単 価	予 定		備 考
			数 量	金 額	
揮 発 油	レギュラー		6,000 ^{リットル}		
灯 油			300 ^{リットル}		
消 費 税					
合 計					

本契約は、単価により契約するものとし、契約単価は上記のとおりとする。ただし、毎月の契約単価は市場価格に応じて、第4条に定めるところにより算出するものとする。

2. 契約期間 自 令和6年 4月 1日
至 令和7年 3月31日

3. 契約内容 「仕様書」のとおり

4. 契約保証金 免除する。

上記の物品売買について下記条件により売買契約を締結し、本書2通を作成して、当事者記名押印のうえ各自1通を保有する。

令和6年 4月 1日

買受人 住 所 福島県白河市郭内128-1
分任支出負担行為担当官
氏 名 福島森林管理署白河支署長 佐藤 健司

売渡人 住 所
氏 名

条 件

第1条 売渡人（以下乙という。）は、契約期間中買受人（（以下甲という。）（甲の職員含む。以下同じ。））に引渡すべき物品について、その品質規格を保証するものとする。

第2条 物品の数量は、頭書のとおり予定するが、これに異動を生じ又は納品皆無のものがあったとしても異議を申し立てないものとする。

第3条 乙は、給油用のカード又は給油伝票を発行し、契約期間中甲が、契約物品の引渡を請求したときは、甲が指示した数量を計量器をとおして、自動車又は甲の指示する容器に注入するものとする。

2. 乙は、上記1項の物品を納入する際、品質・規格・数量等に関し甲の検査を受けなければならない。この検査に合格したときをもって契約物品の引渡を完了したものとし、所有権はこの時をもって甲に移転するものとする。

第4条 給油する各月の契約単価については、市場価格に応じて変動するものとし、下記のとおり算出の上決定することとする。

(1) 経済産業省資源エネルギー庁が発表する「給油所小売価格調査（第3回目調査分）」の東北経済産業局管内平均のレギュラーガソリン及び灯油の価格（消費税額及び地方消費税額を差し引いた価格（小数点以下を四捨五入して整数で算出）。以下、「市場価格」という。）の令和6年3月分価格から落札単価を差し引いた額を値引き額とし、毎月、前月分の市場価格から値引き額を差し引いた価格を当該月の契約単価とする。

(2) 乙は令和6年4月の契約単価について、(1)に基づき算出の上、令和6年4月1日に書面にて甲へ提出するものとする。

(3) 乙は令和6年5月以降の契約単価について、(1)に基づき算出の上、当該月の前月末までに書面にて甲へ提出するものとする。

第5条 この契約による確定金額（以下「代金」という。）は、第3条による検査に合格し、納品書を交付した総数量に契約単価を乗じて得た金額とする。なお、算出した金額に小数点以下の端数がある場合は切り捨てるものとする。

第6条 乙は、前条の代金について、契約期間経過後において支払請求書を甲に提出しその支払を受けるものとする。

2. 甲は、適法な支払請求書を受領した日から30日以内に代金を支払うものとする。

第7条 乙は、代金について、毎1箇月分を取りまとめて甲に請求することとする。

2. 前項による支払については、前条第2項の規定を準用する。

第8条 乙は、甲の帰する事由により約定期間に代金を支払わないときは、甲に対して遅延利息を請求することができる。

2. 前項の遅延利息は、遅延日数に応じ、請求金額に対して政府契約の支払遅延防止等に関する法律（昭和24年法律第256号）第8条第1項に基づく遅延利息率を乗じて計算した遅延利息の額とする。ただし、遅延利息の額が100円未満であるときは、甲は、前項の規定にかかわらず遅延利息を支払うことを要しない。また、100円未満の端数については、その端数を切り捨てるものとする。

第9条 所有権移転後の物品であっても、甲が頭書の規格、品質に適合しない下級品があると認めるときは両者の協議により、乙は当該数量について引換又は値引をするものとする。

2. 乙の責に帰すべき事由により、甲の所有物に損害を与えたときは、乙は甲の指示に従いその損害を賠償するものとする。

第 10 条 乙は、この契約に属する権利又は義務を第三者に譲渡し又は継承させることはできない。ただし、甲の書面による承諾を得た場合は、この限りではない。

第 11 条 乙は、指定期日までに納品することができないときは、書面をもって申し出て甲の承認を得なければならない。

第 12 条 乙は天災その他不可抗力による場合のほか納入期限までに物品を納入できないときは、遅延日数に応じ、当該遅延物品の数量に当該契約単価を乗じて得た金額に、年 3 パーセント割合で計算した額を遅滞違約金として、甲に支払うものとする。

第 13 条 甲は下記各号の一に該当する場合は、契約の全部又は一部を解除することができる。

(1) 乙が契約上の義務を履行しないとき、又は乙が契約を履行する見込みがないと甲が認めたとき。

(2) 乙の都合により契約の解除を申し出たとき。

(3) 乙が不正行為をしたと甲が認めたとき。

この契約による契約解除の効果は、解除の際既に所有権の移転した物品に対して及ばないものとし、これについての金額の確定及び代金の支払いは第 4 条及び第 5 条の規定を準用する。

第 14 条 乙は、甲がこの契約に違反した結果、物品の納入が不可能になったときは、この契約を解除することができる。この場合甲は乙に違約金を支払わないものとする。

第 15 条 次の各号の一に該当する場合には、甲は乙に対し、違約金として契約金額の 100 分の 10 に相当する額を請求することができる。

(1) 第 13 条の規定によりこの契約が解除された場合

(2) 乙がその債務の履行を拒否し、又は乙の責めに帰すべき事由によって乙の債務について履行不能となった場合

2 次の各号に掲げる者がこの契約を解除した場合は、前項第二号に該当する場合とみなす。

(1) 乙について破産手続開始の決定があった場合において、破産法（平成 16 年法律第 75 号）の規定により選任された破産管財人

(2) 乙について更生手続開始の決定があった場合において、会社更生法（平成 14 年法律第 154 号）の規定により選任された管財人

(3) 乙について再生手続開始の決定があった場合において、民事再生法（平成 11 年法律第 225 号）の規定により選任された再生債務者等

3 甲は、第 13 条の規定によりこの契約を解除した場合、これにより乙に生じる損害について、何ら賠償ないし補償することは要しないものとする。

第 16 条 この契約において、乙から甲に支払うべき債務が生じたときは、代金と相殺することができる。この場合、甲の収納すべき金額が乙の債権額を超過するときは、乙は当該金額を甲の指示するところに従い指定期限までに納付するものとする。

第 17 条 この契約書に定めていない事項については、必要に応じ甲乙協議して定めるものとする。

第 18 条 この契約について、紛争を生じたときは、甲乙協議して定める第三者の調停によって解決するものとする。

第 19 条 甲は、この契約に関し、乙が次の各号の一に該当するときは、契約の全部又は一部を解除することができる。

- (1) 公正取引委員会が、乙又は乙の代理人に対して私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（昭和 22 年法律第 54 号。以下「独占禁止法」という。）第 7 条又は第 8 条の 2（同法第 8 条第 1 号又は第 2 号に該当する行為の場合に限る。）の規定による排除措置命令を行ったとき、同法第 7 条の 2 第 1 項（同法第 8 条の 3 において読み替えて準用する場合を含む。）の規定による課徴金納付命令を行ったとき又は同法第 7 条の 2 第 18 項若しくは第 21 項の規定による課徴金の納付を命じない旨の通知を行ったとき。
- (2) 乙又は乙の代理人（乙又は乙の代理人が法人にあっては、その役員又は使用人を含む。）が刑法（明治 40 年法律第 45 号）第 96 条の 6 若しくは第 198 条又は独占禁止法第 89 条第 1 項若しくは第 95 条第 1 項第 1 号の規定による刑の容疑により公訴を提起されたとき。

2 乙は、この契約に関して、乙又は乙の代理人が前項各号に該当した場合には、速やかに、当該処分等に係る関係書類を甲に提出しなければならない。

第 20 条 乙は、この契約に関し、次の各号の一に該当するときは、甲が前条により契約の全部又は一部を解除するか否かにかかわらず、契約金額の 100 分の 10 に相当する額を違約金として甲が指定する期日までに支払わなければならない。

- (1) 公正取引委員会が、乙又は乙の代理人に対して独占禁止法第 7 条又は第 8 条の 2（同法第 8 条第 1 号又は第 2 号に該当する行為の場合に限る。）の規定による排除措置命令を行い、当該排除措置命令が確定したとき又は同法第 66 条第 4 項の規定による審決において、同法の規定に違反する行為があった旨が明らかにされたとき。
- (2) 公正取引委員会が、乙又は乙の代理人に対して独占禁止法第 7 条の 2 第 1 項（同法第 8 条の 3 において読み替えて準用する場合を含む。）の規定による課徴金納付命令を行い、当該納付命令が確定したとき又は同法第 66 条第 4 項の規定による審決において、同法の規定に違反する行為があった旨が明らかにされたとき。
- (3) 公正取引委員会が、乙又は乙の代理人に対して独占禁止法第 7 条の 2 第 18 項又は第 21 項の規定による課徴金の納付を命じない旨の通知を行ったとき。
- (4) 乙又は乙の代理人（乙又は乙の代理人が法人にあっては、その役員又は使用人を含む。）に係る刑法第 96 条の 6 若しくは第 198 条又は独占禁止法第 89 条第 1 項若しくは第 95 条第 1 項第 1 号の規定による刑が確定したとき。

2 乙は、前項第 4 号に規定する場合に該当し、かつ次の各号の一に該当するときは、前項の契約金額の 100 分の 10 に相当する額のほか、契約金額の 100 分の 5 に相当する額を違約金として甲が指定する期日までに支払わなければならない。

- (1) 前項第 2 号に規定する確定した納付命令について、独占禁止法第 7 条の 3 第 1 項の規定の適用があるとき。
- (2) 前項第 4 号に規定する刑に係る確定判決において、乙又は乙の代理人（乙又は乙の代理人が法人にあっては、その役員又は使用人を含む。）が違反行為の首謀者であることが明らかになったとき。
- (3) 乙が甲に対し、独占禁止法等に抵触する行為を行っていない旨の誓約書を提出しているとき。

3 乙は、契約の履行を理由として、前2項の違約金を免れることができない。

4 第1項及び第2項の規定は、甲に生じた実際の損害の額が違約金の額を超過する場合において、甲がその超過分の損害につき賠償を請求することを妨げない。

第21条 甲が第3条により指定する職員とは、各局署等の「(分任)支出負担行為担当官」とする。

(特約事項)

別添のとおり

別添

暴力団排除に関する特約条項

(属性要件に基づく契約解除)

第1条 甲（発注者をいう。以下同じ。）は、乙（契約の相手方をいう。以下同じ。）が次の各号の一に該当すると認められるときは、何らの催告を要せず、本契約を解除することができる。

- (1) 法人等（個人、法人又は団体をいう。）の役員等（個人である場合はその者、法人である場合は役員又は支店若しくは営業所（常時契約を締結する事務所をいう。）の代表者、団体である場合は代表者、理事等、その他経営に実質的に関与している者をいう。以下同じ。）が、暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）又は暴力団員（同法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）であるとき
- (2) 役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的、又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしているとき
- (3) 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与しているとき
- (4) 役員等が、暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれを不当に利用するなどしているとき
- (5) 役員等が、暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有しているとき

(行為要件に基づく契約解除)

第2条 甲は、乙が自ら又は第三者を利用して次の各号の一に該当する行為をした場合は、何らの催告を要せず、本契約を解除することができる。

- (1) 暴力的な要求行為
- (2) 法的な責任を超えた不当な要求行為
- (3) 取引に関して脅迫的な言動をし、又は暴力を用いる行為
- (4) 偽計又は威力を用いて契約担当官等の業務を妨害する行為
- (5) その他前各号に準ずる行為

(表明確約)

第3条 乙は、第1条の各号及び第2条各号のいずれにも該当しないことを表明し、かつ、将来にわたっても該当しないことを確約する。

2 乙は、前2条各号の一に該当する行為を行った者（以下「解除対象者」という。）を再請負人等（再請負人（再請負が数次にわたるときは、全ての再請負人を含む。）、受任者（再委任以降の全ての受任者を含む。）及び再請負人若しくは受任者が当該契約に関して個別に契約する場合の当該契約の相手方をいう。以下同じ。）としないことを確約する。

(再請負契約等に関する契約解除)

第4条 乙は、契約後に再請負人等が解除対象者であることが判明したときは、直ちに当該再請負人等との契約を解除し、又は再請負人等に対し当該解除対象者（再請負人等）との契約を解除させるようにしなければならない。

- 2 甲は、乙が再請負人等が解除対象者であることを知りながら契約し、若しくは再請負人等の契約を承認したとき、又は正当な理由がないのに前項の規定に反して当該再請負人等との契約を解除せず、若しくは再請負人等に対し当該解除対象者（再請負人等）との契約を解除させるための措置を講じないときは、本契約を解除することができる。

(損害賠償)

第5条 甲は、第1条、第2条及び前条第2項の規定により本契約を解除した場合は、これにより乙に生じた損害について、何ら賠償ないし補償することは要しない。

- 2 乙は、甲が第1条、第2条及び前条第2項の規定により本契約を解除した場合において、甲に損害が生じたときは、その損害を賠償するものとする。

(不当介入に関する通報・報告)

第6条 乙は、自ら又は再請負人等が、暴力団、暴力団員、社会運動・政治運動標ぼうゴロ等の反社会的勢力から不当要求又は業務妨害等の不当介入（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、これを拒否し、又は再請負人等をして、これを拒否させるとともに、速やかに不当介入の事実を甲に報告するとともに、警察への通報及び捜査上必要な協力を行うものとする。

仕 様 書

1 総 則

福島森林管理署白河支署に所属する車両の燃料購入に係る単価契約に当たり、甲と乙（乙の給油所の所員及び代行給油ができる特約店等の給油所（以下、「代行給油所」という。）の所員を含む。）は本仕様書に従って、適正に業務を行うものとする。

2 予定調達数量及び納入場所

(1) 予定数量 揮発油 6, 000リットル、灯油 300リットル

所属官署ごとの予定調達数量は、別紙「官署別車両台数一覧表」に記載のとおりである。なお、予定調達数量は見込数量であり、実際の購入数量を保証するものではない。

(2) 納入場所は、下記3の給油カードを使用することができるすべての給油所の店頭とする。

3 給油カードの発行

乙は甲に対し、店頭での給油用として、以下の要件を満たす磁気カード又は電子カード（以下、「給油カード」という。）を発行し、契約期間開始までに納品すること。

- (1) 直営店のほか、代行給油所（高速道路内の給油所を除く）で利用できること。
- (2) 入会金及び年会費等の発行及び利用に係る費用が不要であること。
- (3) クレジット機能を有しないこと。
- (4) 別紙「官署別車両台数一覧表」に記載されている台数分を発行すること。
- (5) 車両の変更又は追加等があった場合は、無償で給油カードの交換、解約又は新規発行ができること。

4 給油の方法等

- (1) 甲は店頭で給油を依頼する場合は、給油カードを用いて発注するものとし、乙は、給油完了後、甲に対し給油伝票（納品書）を発行する。
- (2) 代行給油所における給油単価は、本契約の契約単価によるものとし、手数料等の費用が必要な場合は、乙がこれを負担とする。

5 毎月の精算

乙は、毎月末に当該月の使用量を取りまとめ、その代金を翌月20日迄に甲へ請求することとし、その際には、給油カードごとの明細書も添付する。

令和 年 月 日

分任支出負担行為担当官

福島森林管理署白河支署長 殿

住 所

会社等名

令和6年2月15日公告

物件名 令和6年度 福島森林管理署白河支署 揮発油・灯油

一般競争入札の参加資格の下記証明書類について、別紙のとおり提出します。

なお、記載事項に関する照会については、下記担当までご連絡願います。

記

- ① 令和04・05・06年度全省庁統一資格の審査結果
通知書の写し
- ② 別紙1「調達対象官署一覧」
- ③ 別紙2「発行する給油カードの概要」

(担当)

- 1 所属部課名：
- 2 役 職：
- 3 担当者氏名：
- 4 電話番号：

発行する給油カードの概要

1 発行するカードの種類
2 発行に係る手数料について
3 カード紛失時の事務手続きについて
4 毎月の請求の取りまとめ方法について
5 その他

注:パンフレットや利用規約等を添付してもよい

<紙入札の場合の様式>

入札書

物件の名称 令和6年度 福島森林管理署白河支署 揮発油・灯油

入札 金額	千万	百万	十万	万	千	百	十	円
----------	----	----	----	---	---	---	---	---

※金額の頭に¥マークをつけること。

上記金額で関東森林管理局署等競争契約入札心得、契約条項等、仕様書、その他関係事項一切を承知の上、入札いたします。

令和 年 月 日

分任支出負担行為担当官

福島森林管理署白河支署長 殿

所在地

会社名

代表者氏名

代理人

入札内訳書

物件の名称 令和6年度 福島森林管理署白河支署 揮発油・灯油

揮発油 (レギュラー)	単価	円×	6,000 ^円 / _{リットル}	=	円
灯油	単価	円×	300 ^円 / _{リットル}	=	円
計	(入札書に記載する金額)				円

※単価は整数とし、消費税は含めない額とする。

所在地

会社名

代表者氏名

代理人

注意：電子調達システムによる入札の場合は、入札の際、本様式により作成した入札内訳書を PDF データにして添付すること。

紙入札による場合は、本様式により作成した入札内訳書を入札書に添付して入札すること。

作成例

様式第6号（第4条）

委 任 状

代理人氏名 関東 太郎

上記の者を私の代理人と定め、下記権限を委任します。

記

1 入札年月日 令和 年 月 日 入札日を記入

2 件 名 令和6年度 福島森林管理署白河支署 揮発油・灯油

3 入札に関する一切の件

令和〇〇年△月□□日

委任された日付を記入

全省庁資格確認通知書に記載された住所・会社名・代表者役職・氏名を記入(ゴム印でも可)

住 所 〇〇県△△市□□町1-2-3

商号又は名称 〇△株式会社

代表者氏名 代表取締役 関東 次郎

分任支出負担行為担当官

福島森林管理署白河支署長 渡邊 修 殿

なお、代理人から復代理人に委任をされる場合においても再度委任状が必要となりますので注意してください。

※ 本様式は標準例を示したものであり、上記事項が記載された適宜の様式を使用しても差し支えない。